

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 4113  
20年12月22日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953

## 年繁要求書に対して回答が出される。 最繁忙過ぎてからの回答に抗議する！

おはようございます。

12月18日、長中局より年末年始繁忙の要求書の回答が行われました。今年度の要求書は10月30日に提出し、11月25日までの回答を求めています。にもかかわらず、今年度も年末繁忙期真っ只中での回答となりました。因みに昨年の回答日は12月25日でした。昨年よりは一週間早いとはいえ、連日ゆうパックの配達に追われ、超勤続きの時期にならないと回答をしない長中局の姿勢には、強い憤りがあります。

ります。ゆうパック業務の最繁忙時期が終わるころ回答されても、(回答の場で交わす) 組合の意見・要望が生かされることは無いでしょう。



にいつているという判断もありません。しかしこれらも事前に対策を工夫していれば、もっとうまくやれたのと思う次第です。長中局には猛省を求めます。

**要求書の回答通り、業務量に応じた適正な要員配置を求める**

さて回答は表の通りです(紙面の関係で一部のみ・地下掲示板に掲載します)。

今年度は、郵便の滞留やゆうパックの翌日回し(処理)もわずかで、特別条項を使用しての超勤発令も少なく、スムーズ

項目6で、長中局は「業務量に応じた適正な要員配置に努める」と回答しています。今回の要求書

に限らず支部が提出する要求書に対して、長中局は同様の回答を行う事が度々あります。この業務量に応じた適正な要員配置とは、当日配達すべき全ての郵便物が完了できる要員配置のことで、滞留となるようでは適正な要員配置とはいえません。

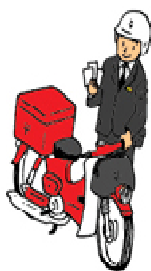
先々週、第3集配営業部では通配区で滞留が起きました。当日の詳しい業務運行は割愛しますが、郵便物が多く混合からの配達応援が必要だったにも関わらず、ゆうパック繁忙と重なってゆうパックの応援を優先し通配応援に入らず、日没持ち戻りと聞きました。

また配達応援がない上に、(通配区) 配達後夕方からゆうパック応援に行かなければならず不満も出ています。この状況が長中局の言う「業務量に応じた適正な要員配置に努める」でしようか？もつと現場を見てください！



今年には新型コロナウイルスの感染拡大で年末年始に帰省を控える動きが予測されています。帰省の代わりとして、年賀がぎを送るといふ人が増えるという報道もあるみたいです。

今年に限らず年賀はがきにはその方の想いが詰まっています。その思いを迅速確実にお届けするのが我々の仕事です。今年も1月2日は休配日の為、1月3日は業務量が多くなります。ここ数年滞留もたびたび起きています。「年賀はがきで伝えるその想い」を、滞留と言う形で裏切らないような人員配置を求めます。



今回の滞留ですが、繁忙期のゆうパック要員配置が適正であれば起こらなかった可能性が高いです。この日に限らず、繁忙期のゆうパック要員が適正に配置されていないため、ゆうパック担当者に大きな負担が来ています。

### 10月30日提出の年繁要求書への局回答(12月18日) (要求項目・回答共に一部抜粋)

- 3、全社員に、1月1日から1月3日の間に必ず1日以上の日を確保する事。  
局)1月1日から1月3日までの間において可能な限り1日は休暇を付与するが、この間に付与できない場合は1月5日までに付与するように配慮する。  
尚、昨年度も5日までに全社員に対し休暇を付与している。
- 5、3時間以上の時間外労働(超勤)を発令しなくても済むように短期ゆうメイトを雇用すること  
局)必要な要員の確保に努めると共に業務量に応じた時間外労働を命じて行く
- 6、年明け差出となる年賀状が増え、年明けの業務量が増加傾向にある。年明け以降の要員配置を含めた対策を明らかにすること。  
局)年末業務に係る意思疎通により説明した通り、業務量に応じた適正な要員配置に努める

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。

めいせ、均等待遇を。

なべつし差別ー

ユニオンは労基法裁判に勝利したんやー

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。